

平成24年度

教育指導の計画

(最終反省)

平成25年2月22日

大阪市立矢田西中学校

目 次

	総括評価シート	1
1	学校経営の重点	2
2	学習指導の重点	4
	国語	6
	社会	7
	数学	8
	理科	9
	音楽	10
	美術	11
	保健体育	12
	技術家庭	13
	英語	14
	道徳、総合的な学習の指導の重点	15
	特別活動	16
3	生活指導の重点	17
4	保健管理・指導の重点	19
5	研修の重点	21
6－①	図書館活動	22
6－②	人権教育	23
6－③	国際理解教育	24
6－④	進路指導	25
6－⑤	安全・危機管理	26
6－⑥	特別支援教育	27
6－⑦	組織運営	28
6－⑧	保護者・地域との連携・小中連携	30
6－⑨	施設設備	32
	教科時数配当及び校時表	34
	教員の研修計画	35
	校務分掌	36
	学校行事予定表	37
	努力目標	41

総括評価シート

大阪市立矢田西中学校

1. 学校教育目標

・人間尊重の精神を基盤として、生徒一人一人を見つめる中で、教育内容の充実を図り、保護者・地域の信頼に応える教育をすすめる。

2. 重点目標

- a 総合的に人権教育に取り組み、生徒一人一人の人権意識を高め、人権文化にあふれた学校づくりに努める。
- b 生徒一人一人の規範意識を育てると共に、健全な生徒集団の育成に努める。
- c 生活指導体制の充実に努め、課題克服に向けて組織的・継続的に取り組む。
- d 各教科において、指導方法の工夫・授業力の向上に努めると共に、生徒の学習意欲を高める指導をみにつけさせる。
- e 教育活動全般の円滑な遂行と共に、相互の連携を深め、豊かな教育活動を想像する。
- f 多様な取り組みと方法を通じて、「開かれた学校づくり」を推進する。
- g 小中連携を積極的に推進し、展望を持った具体的な取り組みに努める。

3. 評価項目の達成状況 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが、目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

評価項目	達成状況	評価の理由
(1) 学校経営の重点	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(2) 学習指導の重点	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(3) 生活指導の重点	A	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(4) 保健管理・指導の重点	A	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(5) 研修の重点	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(6)－① 図書館活動	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(6)－② 人権教育	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(6)－③ 国際理解教育	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(6)－④ 進路指導	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(6)－⑤ 安全・危機管理	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(6)－⑥ 特別支援教育	A	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(6)－⑦ 組織運営	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(6)－⑧ 保護者・地域との連携・小中連携	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。
(6)－⑨ 施設・設備	B	各種アンケートや意見を参考に進捗状況を、把握し達成状況を評価した。

4. 次年度への改善点

各項目の達成状況を学校全体で確認し、改善のための工夫と取り組みを計画し、具体的な取り組みを進める。

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

(1) 学校経営の重点

・生活指導面の充実、人権教育の推進、学力の向上小中の連携を重点として、総合的に取り組む。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)	達成状況	
①【生きる力の育成】 教育活動全般を通じて、『生きる力』(「確かな学力」「豊かな人間性」「健康や体力」)を育む指導をしている。	B	B
②【規範意識の育成】 生活指導面における学校の安定化への土台づくりを進めて、改善を図っている。	B	
③【集団育成】 生徒一人一人の規範意識を育てると共に、健全な生徒集団の育成に取り組んでいる。	A	
④【指導体制の充実】 生活指導体制の充実に努め、課題克服に組織的・総合的に取り組んでいる。	B	
⑤【学習環境の整備】 落ち着いた規律ある授業づくり、生徒が意欲を持って学習に取り組める環境づくりに努める。	B	
⑥【指導力の向上】 教職員の一人一人の授業力の向上をめざし、資質向上に努めている。	B	
⑦【基礎学力の定着】 計画的・系統的に学習習慣の確立、学習支援についての取り組みに取り組んでいる。	B	
⑧【人権教育】 人権教育を総合的に取り組み、人権文化にあふれた学校づくりに努めている。	B	
⑨【教育課程】 教育活動全般が相互に関連して、横断的・総合的に行われている。	B	
⑩【地域・家庭との連携】 多様な方法で「開かれた学校づくり」に積極的に取り組んでいる。	A	
⑪【小中連携】 小中連携を推進し、具体的な取り組みの推進を図っている。	B	

結果と分析
<p>①取り組みの工夫を重ね、「生きる力」を育む教育活動を実践した。</p> <p>②様々な取り組みの中で、指導の工夫を重ねており、生徒の中に規範意識が定着しつつある。</p> <p>③学校行事や学年行事、学級活動、部活動等の取り組みにより、お互いが支え合う集団の育成が進んだ。</p> <p>④教職員によりきめ細かな生活指導が行われているが、組織的な取り組みの機能強化が必要である。</p> <p>⑤全体として落ち着いた状況で授業は行われているが、学力の定着に向けてのさらなる取り組みの工夫が必要である。</p> <p>⑥研究授業や指導案さらには評価についての研修を行い、授業力の向上に取り組んでいる。</p> <p>⑦継続的な学習指導により、学習習慣が身についた生徒が増えているが、全体化には至っていない。</p> <p>⑧あらゆる教育活動の場面で、人権教育の視点を取り入れている。</p> <p>⑨新教育課程の実施を踏まえ、教職員が連携をとりながら教育活動を進めているが、一層の連携が求められる。</p> <p>⑩「矢田西だより」等の新聞で、積極的に本校の教育活動を保護者や地域に紹介しており、情報発信に努めている。</p> <p>⑪小中コーディネーターを中心に、小中連携を確実に進めている。新しい取り組みにも進めた。</p>
次年度への改善点
<p>生活指導や教科指導さらには生徒集団の育成を始め、各項目の達成状況の詳細な点検を進める中で、解決への具体策を立案し、取り組みを進めていくことが求められる。</p>

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

(2)学習指導の重点

・生徒が自主的・自発的に学習する手立てを考え、授業内容の工夫とその指導法を改善して、生徒の学習意欲を喚起する。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが、目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)	達成状況
①【指導体制の充実】 年間の学習指導計画について、教職員間でよく話し合われ、共通理解が図られている。	A
②【指導法の改善と工夫】 学習への興味・関心を高める工夫を行い、学習意欲を育てている。	A
③【教科内の連携】 教科内で、指導内容・方法について、よく検討し、その改善に努めている。	A
④【学習集団の育成】 個々の生徒に学習目標を持たせ、自主的・計画的に学習する姿勢を身につけさせている。	A
⑤【言語力の育成】 授業においては、生徒が意見を発表したり、お互いの考えについての話し合いなどの時間を作っている。	A
⑥【個に応じた学習指導】 相互の授業見学・意見交流、校内授業見学等の実施等で、他の教職員の授業を見学する機会がよくある。	A
⑦【個に応じた学習指導】 習熟度別指導をはじめ少人数指導、グループ学習などの個に応じた多様な授業形態を実施している。	A
⑧【個に応じた学習指導】 学習意欲の高い生徒、到達度の高い生徒に対する学習指導を、個に応じた視点で行っている。	B
⑨【個に応じた学習指導】 到達度の低い生徒に対しての学習指導を、個別に行っている。	A
⑩【学習評価の工夫】 適切な評価基準を設定し、評価のあり方、方法について、学年や教科でよく話しあっている。	B
⑪【学習評価の工夫】 成績評価にあたって、評価基準等について、生徒・保護者にわかりやすく説明し、その適正化に努めている。	B
⑫【学びの場の創造】 各教科の実態にあわせて、特別教室等を適切かつ有効に活用し、多様な「学びの場」を提供し、授業を展開している。	A
⑬【指導体制の充実】 学校全体で「学力」の本質について、論議され、生徒に確実に身につけさせる学力が明確化されている。	A
⑭【指導体制の充実】 各教科において、教育指導の計画の具体的方策が十分に実践され、目標が達成されている。	A

取組内容(指標)		達 成 状 況	
⑮【指導体制の充実】	授業内容や授業の進め方などに関して、生徒の授業アンケートを参考にしている。	B	
⑯【地域との連携】	地域の人材や施設等を活用した授業を行っている。	C	
⑰【ITの活用】	授業において、コンピューター等のIT機器の有効活用を図っている。	B	
結果と分析			
<p>① カリキュラムや進度の状況をよく話し合っている。</p> <p>② 教材を工夫して授業を行っている。</p> <p>③ ①と同様教科ごとに良く検討をしている。</p> <p>④ 自主学习ノートや朝の学習など、個別に学力を養成する取り組みを、学年を中心に行っている。</p> <p>⑤ 授業において、生徒が意見などを発表できる機会を工夫して作っている。</p> <p>⑥ 空き時間などを利用して、教職員が巡視をかねて授業見学を行っている。</p> <p>⑦ 授業の単元によっては、グループ学習や少人数学習の形態をとっている。</p> <p>⑧ 個々に実施しつつある。</p> <p>⑨ 個別に課題を出したりして、少しずつであるが行っている。</p> <p>⑩ 相対評価を加味しない絶対評価導入に向けて各教科での検討が必要。</p> <p>⑪ 各教科で行っている。</p> <p>⑫ 実態に合わせて展開をしている。</p> <p>⑬ 個々にではあるが、明確にされつつある。</p> <p>⑭ 以下に示された各教科ごとの経過通りである。</p> <p>⑮ 状況に応じて、行われている。</p> <p>⑯ 今後、活用できるよう検討をし始めている。</p> <p>⑰ 授業によっては、活用している。</p>			
次年度への改善点			
<p>相対評価を加味しない絶対評価導入に向けて各教科での検討が必要。また、地域人材バンクなどを活用して総合の時間などの取り組みをすすめるようにしたい。</p> <p>また、ICT事業が本格導入されるのに伴い、パソコンなど視聴覚機器を多用した授業が展開できるよう環境整備を進めたい。</p>			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

国語

- ・国語を適切に表現し正確に理解する基礎的能力を培う。
- ・言葉に対する意識を高め、適切に使えるように導く。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)	達成状況	
① 少人数指導、習熟度別指導を取り入れる。	B	A
② 漢字力・語彙力の向上のために小テストの実施、短文作りなどを行い、定着を図る。	A	
③ 机間巡視を行い、授業に対して消極的な生徒に対して細かな配慮と指導を行う。	A	
④ 様々な文章を読み、理解する力を高めると同時に、読書への関心を高める。	A	
⑤ 提出物を出すことの徹底を図る。	A	
⑥ 目的や場面に応じて的確に話したり、聞いたりする能力を養う。	B	
⑦ 自分の思いを表現し、文章化できるように作文指導をする。	B	
結果と分析		
①作文指導において目標を達成すべく少人数指導を実施する。 ②漢字の苦手な生徒に対して声かけを行い、プリント学習をさせた。 ③今後もきめ細やかな指導をしていきたい。 ④図書館の利用をすすめ、書籍の紹介を行った。 ⑤今後も期限遵守で提出物を出すよう指導に努める。 ⑥場面に応じた適切な敬語を使えるよう指導を続ける。 ⑦自分の思いを発表できる場の設定を行う。		
次年度への改善点		
文章を読み取り、必要なキーワードを見つけ、要約する力を單元ごとに設け、育成することにつとめる		

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

社会

・関心、興味をもって学習し、基礎学力の定着の図れる授業の工夫を目指す。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが、目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)	達 成 状 況	
① 地図や資料などを活用し世界のいろいろな地域や日本の各地方の情報を得て学習させる。	A	A
② 歴史の流れをとらえさせ、資料を読む力を養う。日本や世界のできごとを関連させ学習させる。	A	
③ 今まで学習してきた内容を関連づけながら、日々のニュースや新聞などの情報も活用し、社会のさまざまな出来事に興味をもたせ考えさせる。	A	
結果と分析		
①各单元ごとに、各地域の面積や人口などを調べノートに記入し基礎知識の定着を図った。 ②コの字型学習や班学習を取り入れ、資料を読み、考え、発表する力を養い今後も継続していく。 ③社会の様々な出来事に関連して対話活動を行い、今までの学習とつなげ授業を進めた。		
次年度への改善点		
次年度の新一年生から、社会科においては地理分野・歴史分野の平行授業(パイ型)を行う予定である。 その為の教材や授業内容の把握をしっかりと行い、生徒が興味ある授業作りを重点におく必要がある。		

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

数学

- ・授業中の集中力を高める。
- ・家庭学習の習慣を身につけさせる。
- ・基礎基本の定着

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)	達成状況	
① 授業中でできるだけ多くの生徒に発言させる。	A	A
② 机間巡視を密にする。	A	
③ 提出物は必ず提出させる。	A	
④ 低学力の生徒も授業に積極的に参加できるように教材を工夫する。	A	

結果と分析

- ① 個々の生徒の実態に応じた発問に努め、発言力が低い生徒に対してはこちらから質問するなど発言機会を増やすように努めた。
- ② 低学力の生徒を中心に指導するように努めることで内容を理解することを諦める生徒が少なくなった。
- ③ 定期的に問題集等を提出させ、家庭学習の習慣化に努めた。一定の成果はでているが、なかなか定着しない生徒もいる。
- ④ 基本事項の定着に向け、補助教材の活用や問題の選別を行うことで低学力の生徒にあった学習活動を展開することができた。

次年度への改善点

計算力が上がるような学習活動を行うように努める。

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

理科

- ・自然科学の知識、基礎学力の定着を図る。
- ・自然界の事物や現象を探究させ、自然の理法を見つけさせる能力を養う。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが、目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達 成 状 況	
① 実験・観察を充実させ、実験方法の創意工夫に努める。		A	B
② 興味・関心を高める教材を工夫し、活用する。		B	
③ 理科教室の設備の充実と教材の精選に努める。		B	
結果と分析			
①全学年で実験・観察を行うことができた。さらなる内容の充実に努めたい。 ②自作教材や理科室の薬品・器具を用いるなどし、生徒の関心を高めるよう工夫した。 ③こまごまとした実験器具の整備や点検を必要に応じて行った。			
次年度への改善点			
理科室や実験器具を利用する機会をさらに増やし、パソコン教室や映像教材の活用もすすめ、生徒の興味・関心を高める授業づくりをしていきたい。			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

音楽

- ・音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにする。
- ・音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う
- ・多様な音楽に興味、関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達 成 状 況	
① 音楽を表現するための基本的事項の習熟とその定着をはかる。	B	A	
② 合唱、合奏によってハーモニーの豊かさや美しさを感じとらせる。	A		
③ 生徒が興味をもって取り組むような編曲、教材の精選に心がける。	A		
結果と分析			
①今後もこまめな机間巡視などを行い基本的演奏能力を高める工夫をしていく ②今後もきめこまやかな指導を行っていく ③限られた時間の中で、本校の生徒に即した教材の精選に努める			
次年度への改善点			
限られた時間の中で、より多くの楽器(単元)に触れる機会を作るよう努める			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

美術

- ・美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。
- ・感情を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが、目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)	達 成 状 況	
① 形体や色彩の基礎的技能と表現力を養う。	B	A
② 生徒の実態を考慮しながら多様な技法を習得させる。	B	
③ 生徒の自己の表現、創造力を大切にし、作品を完成することにより自信につながるよう指導する。	A	
④ 多くの作品を鑑賞し、美術の魅力を見つめさせる。	B	
結果と分析		
①各学年で題材に合わせた指導を行っている。 ②それぞれの題材でできるだけ多くの技法を習得できるよう努めた。 ③自己評価等の結果から、年度当初に比べ美術に対して好きや得意といった好意的・意欲的な反応が増え、自信をもって取り組む姿勢を見せる生徒が増えたのが実感できた。 ④教科書・資料集等を使ったり完成作品を見て意見を述べ合ったりと機会を選び鑑賞の授業を行った。		
次年度への改善点		
どの目標も達成はしたものの、指導者の工夫や準備でより高度な取り組みが目指せる。 次年度では授業の工夫や準備により力を入れ、高度なレベルでの達成を目指したい。		

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

保健体育

- ・体力の向上を図り、健康管理に十分留意する態度を身につけさせる。
- ・スポーツそれ自体に内在する楽しさを感じとらせ、スポーツ文化を取り入れたライフスタイルの形成（生涯スポーツ）につなげる。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)	達 成 状 況	
① スポーツテストの結果より、自己の体力、運動能力を知り、弱い所を補わせる。	B	B
② 保健の分野で知識を教え、毎日の生活に役立てられるようにする。	B	
③ グループ学習を通じて、自覚ある体育活動を展開させる。	B	
結果と分析		
①全学年でスポーツテストを実施し、個人カードに記入することで、各自が自分の体力・運動能力を確認することができた。 ②不定期ではあるが、日々の生活、保健体育科授業の意義付けも含め取り組むことができた。 ③準備運動や球技・ソーラン節など、体育委員やリーダーを中心に自主的に取り組むことができた。		
次年度への改善点		
視聴覚教材のさらなる活用 駅伝大会の計画を早くする		

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

技術家庭

家庭生活や社会生活と技術とのかかわりについて理解を深め、すすんで工夫し、創造する能力と実践的な態度を育てる。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)	達 成 状 況	
① 実習や製作を通して、生活に必要な基礎的な知識や基本的な技術の習得をめざす。	A	A
② 工具、道具を大切に扱い、作業安全の徹底を図る。	A	
③ 生徒の個性を生かすことのできる題材を選定し、完成の喜びを知らせる。	A	
④ 課題をみつけ、その解決の方法を考えるとともに、班での協力のもと創造し導きだす。	B	
結果と分析		
①全学年、実習を取り入れ作品作りを通して、技術に習得をした。 ②工具、道具の整備、管理をし、生徒に指導した結果、道具を大切に使用できた。 ③生徒にデザインを選べたり、考えさせたりすることで、製作意欲を持たせた。また、完成させるための補習 も行い、全員に完成の喜びを知らせた。 ④班活動することにより、問題解決のため協力し合うことを学びつつある。		
次年度への改善点		
指示された作業をするだけでなく、自ら考え作業することが出来ることを目指していく。 班活動を通し、協力しながら実習を行うことができることを目指していく。		

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

英語

- ・「聞く・話す・読む・書く」の4技能を重点に基礎学力の定着を図る。
- ・国際社会を視点に異文化理解を図る。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが、目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達 成 状 況	
①	クラス・Team-Teaching・少人数の授業で、細やかな指導を行い「聞く・話す・読む・書く」を重点的に基礎学力を育成する。	B	A
②	単元ごとに単語テストを行い、単語の定着を徹底する。	A	
③	NSA-Cとの交流学习を行いながら、英語を使う技能を育成する。	A	
結果と分析			
①1年生においては、ttを行い細やかな指導を行ってきた。2.3年生においては、クラス単位で授業を行い、4技能の能力向上に努めてきた。 ②1・2年生に関しては、単元ごとではなく、随時単語テストを実施した。3年生は、単元ごとに単語テストを実施した。全学年で、英単語の定着を図ってきた。 ③全学年で実施し、実践的な英語を身につけてきた。			
次年度への改善点			
授業に参加しているが、集中力に欠けている生徒がいるため、サポートを強化していきたい。			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

道徳・総合的な学習の指導の重点

道徳・総合的な学習を楽しい、やってよかったと感じる時間にするため指導内容の工夫を行う。系統的・組織的な指導体制づくりの強化からさらに一層指導の充実を図る。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)	達 成 状 況	
① 道徳教育の推進のため、計画的な指導を行っている。	B	B
② 総合的な学習の時間においては、参加・体験的な学習活動を多く取り入れ、生徒が積極的に活動する意欲を高める取り組みを進めている。	B	
③ 総合的な学習の時間においては、学校としての指導体制を確立し、保護者・地域と連携した活動を行っている。	A	
結果と分析		
①生徒会や委員会を中心に学校全体として取り組んだ。 ②各学年で様々な取り組みを行った。 ③親子ふれあい人権学習を実施し、保護者・地域と連携した活動を行った。		
次年度への改善点		
・今後も生徒の規範意識や自尊感情を高めていく教材の精選・工夫に努めたい。		

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

特別活動

・学校生活の問題をみんなで考え、正しく解決できる。生徒会を育てる。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)	達 成 状 況	
① 生徒会組織・専門委員会組織の自主的活動の育成を図っている。	A	A
② 学校行事について、生徒にとって魅力あるものとするために工夫と改善を行っている。	A	
③ 奉仕等の体験学習やボランティア活動を活発に行っている。	B	
④ 部活動の活性化を図り、生徒の達成感が得られるようにしている。	A	
結果と分析		
①生徒会では、ブロックの生徒会交流に参加し意見交流を行った。各委員会でも、専門委員会で話し合った内容を実際に活動につなげ育成を図った。 ②様々な学校行事において、各学年や学校全体で話し合い、工夫に努め活性化を行った。 ③お掃除隊を募集し校内の清掃活動を行った。また、年末には、計画通り募金活動を行った。 ④本年度は、体育大会でクラブ行進やリレーを行い活性化を図った。		
次年度への改善点		
・次年度では、ボランティア活動において生徒会を中心にさらなる活性化を目指していく計画である。 お掃除隊については、校内だけではなく地域住民の協力のもと公園や通学路などの清掃活動を実施したいと計画中である。		

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

(3)生活指導の重点

・基本的な生活習慣を身につけさせる。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達成状況	
①【課題の明確化】	本校では、生活指導上の問題が明確になっている。	A	A
②【課題の共通理解】	生活指導上の問題の解決のため、教職員間で建設的に論議し、方向性を考える機会が多い。	B	
③【指導体制の充実】	生活指導上の問題の問題で困った時に、教職員で相談しやすい雰囲気がある。	A	
④【指導体制の充実】	教職員は連携・協力して生徒指導にあたっている。	A	
⑤【指導体制の充実】	問題行動・生活指導上の問題が発生した時、情報の共有と共通理解が図られ、組織的に対応できる体制が整っている。	B	
⑥【指導体制の充実】	問題行動の未然防止に向け、早期指導に積極的に取り組んでいる。	A	
⑦【指導体制の充実】	教育相談体制が整備されており、生徒は安心して教職員に多くのことが相談できる。	B	
⑧【生徒理解】	カウンセリングマインドを大切に、生徒理解に基づいた生徒指導を行っている。	A	
⑨【生徒理解】	体罰やセクシャルハラスメントの防止をはじめ、人権尊重の姿勢に基づいた生活指導が行われている。	A	
⑩【家庭との連携】	生徒指導において、きめ細かな日常の連絡の実施・家庭訪問等により、家庭との綿密な連携が図られている。	A	
⑪【関係諸機関との連携】	生徒指導において関係諸機関との緊密な連携が図られている。	A	
⑫【指導体制の充実】	学校全体で、基本的な生活習慣を身につけさせる教育活動を行っている。	A	
⑬【指導体制の充実】	落ち着いた教育環境が維持され、生徒は規律ある状況のもとで学校生活を過ごしている。	A	
⑭【指導体制の充実】	生活指導面の課題克服、教育活動全般の健全化に向けて、明確なビジョン・解決策を持ち、改善が図られている。	B	

取組内容(指標)		達 成 状 況	
⑮【いじめの対応】	いじめ問題の未然防止と解決に向け、組織的な対応ができている。	A	
⑯【不登校の対応】	不登校生徒への対応については、共通理解を図り、その取り組みと改善に努めている。	A	
⑰【生徒理解】	校則が生徒の実態や人権尊重の立場から適切であるかについて、生徒や教職員で話し合う機会がある。	A	
結果と分析			
数年前の非常に荒れた状態に対し、教職員の様々な取り組み、及び多くの地域の方々の協力を得てその状況から脱し、現在、本校は生活指導の面ではほぼ安定した状態にある考えられる。一方では、個別に取り組み内容を検証すると各項目のうち②⑤⑦⑭の「指導体制の充実」の項目に、いまだ改善の余地を残す、今後更に学校総体としての指導体制の充実が求められる。			
次年度への改善点			
問題行動及びその予防に対する校内生活指導の体制の充実			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

4. 保健管理・指導の重点

・健康で安全な学校生活ができるように計画的な指導をすすめる。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達成状況	
①【指導計画】	学校保健計画等を作成し、計画に沿って実施している。	A	A
②【指導計画】	健康と安全・美化に関心を持たせ、一人一人が健康で安全な学校生活が過ごせるように、計画的な指導と情報発信に努めている。	A	
③【指導の充実】	健康診断の事前・事後指導を適切に実施している。	A	
④【指導の充実】	心のケアの体制が整備され、教育相談活動が適切に行われている。	A	
⑤【指導体制の充実】	生徒の健康状況や配慮事項について、適切な情報提供・共通理解がなされ、生徒の健康面での安全が確保されている。	A	
⑥【指導の充実】	喫煙・飲酒・薬物乱用の害について、適切な指導をおこなっている。	A	
⑦【家庭・地域との連携】	保健や健康に関して、保護者や地域の保健機関との円滑な連携を図っている。	A	
⑧【指導体制の充実】	緊急蘇生法の研修をはじめ、生徒の安全確保のための教職員のスキルの向上が適切に行われている。	A	
⑨【指導体制の充実】	昼食指導が適切に行われ、昼食の時間においては安全で快適な環境づくりがなされている。	A	
⑩【食育】	食に関する興味・関心を高めるため、食育に関する指導に取り組んでいる。	A	

結果と分析
<p>①学校保健計画作成、各計画ともに実施した。</p> <p>②委員会活動や保健たより、食育たより等を通して指導、情報発信をした。</p> <p>③健康診断の事前・事後指導を行った。</p> <p>④担任、生活指導部、スクールカウンセラーとの連携のもと、心のケアを行った。</p> <p>⑤要管理者名簿の作成、職員間の連絡、共通理解に努めた。</p> <p>⑥1年喫煙防止、2年飲酒防止、3年薬物防止それぞれ教育を実施した。</p> <p>⑦必要に応じて随時行った。</p> <p>⑧職員研修として普通救命救急講習等を実施した。</p> <p>⑨担任、副担任などで昼食指導を行った。</p> <p>⑩食育だよりの発行。1学期に各学年において「食育」「調理実習を行った。</p>
次年度への改善点
<p>栄養教諭による食育ができなかったなので、次年度は早い段階で計画し実施していきたい。</p>

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

5. 研修の重点

・研修活動の充実に取り組み、教職員の資質向上、教育課題解決に向けた実践力の向上を図る。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達 成 状 況	
①【研修計画】	校内研修体制が確立され、計画的に校内研修が行われている。	B	B
②【授業研究】	校内研修は、社会の変化に即した課題を取り入れるなど、教育活動や職務の遂行に役立つ内容となっている。	A	
③【各種研修】	教育センター等が主催する研修に積極的に参加している。	B	
④【伝達講習】	校外における研修・研究に参加した成果を、他の教職員に伝える機会が設けられている。	C	
結果と分析			
①年間計画に基づいて計画的にほぼ研修を実施した。 ②それぞれの研修で時代に即した内容を取り入れた。 ③教育センター・地域関連などの主催の外部研修に参加し、研鑽を積んだが、参加者が限られていた。 ④指導案の研修をいかした研究授業を実施した。今後参加した成果を他の教職員に伝える機会を設けるよう検討中であつたが実施出来ていなかった。			
次年度への改善点			
地域関連の研修に関しては、発信が弱かったために教職員に伝えきれていなかったため、情報発信を確実にしていきたい。 本年度は、伝達講習の機会が設けられなかったため、来年度からは少しずつ実施していきたい。 来年度、教育指導の計画に「研究授業」の欄を新たに設けてほしい。			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

6-① 図書館活動

・生徒の読書習慣育成と、豊かな心を育てる。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達 成 状 況	
①【読書活動】	豊かな心・想像力・表現力の育成のために、読書活動の推進を図る。	A	B
②【図書整備】	教科学習・総合学習における情報センターとしての機能を果たせるよう、蔵書の整備をする。	B	
結果と分析			
①読書の機会を増やすため、毎週月・火・木曜日の昼休みに図書館開放を実施してきた。 ②各教室に本棚を設置し、読書の定着を図ってきた。また、本の選定については今後、教職員や文化委員の協力を得られるよう努めていく。			
次年度への改善点			
・図書館の利用者を増やすことを目指す。 ・蔵書の整備を図り、環境を整える。			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

6-② 人権教育

・人権尊重の教育に努め、教育内容を深化・充実させる。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達 成 状 況	
①【取り組みの充実】	人権尊重の教育の推進に努め、互いの違いを認め合い、人権尊重の精神と態度を育てる教育を推進している。	B	B
②【指導体制の充実】	日常生活を通して、教職員は差別を見極め、それを許さない指導を行っている。	A	
③【指導体制の充実】	人権尊重の教育の推進のために、外部講師や諸施設の活用が進められている。	B	
④【指導力の向上】	人権尊重の教育において、参加型や体験型の学習内容・方法を取り入れ、感性を高める指導を行っている。	B	
⑤【集団育成】	男女共生教育、性教育等を通じて、自他の生命を尊重し、互いの個性を尊重しあう能力と態度を養っている。	A	
結果と分析			
①日々の学校生活を通して、全教職員が人権教育の推進に努めた。 ②教職員は、生徒のちょっとした変化にも気を配り配慮した。 ③ソンセンニムに毎週金曜日に来てもらい、多文化に触れる機会を設けた。また、昼食交流にも参加し、民族学級を開放した。 ④各学年で参加型・体験型の学習を行った。 ⑤性教育などを通し、各学年自他の生命を尊重し、互いの個性を尊重しあう能力と態度を養った。			
次年度への改善点			
・今後とも様々な人権教育に対応できる教材や備品をそなえ、地域や外部での多種多様な研修会など学びの場に多く参加できる体制を作っていきたい。			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

6-③ 国際理解教育

・子どもたちが自らの民族の歴史や文化・伝統を尊重し、自己の確立を図ることで、多様な文化を理解し、共に生きていく国際人としての資質や能力の育成に努める。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達 成 状 況	
①【指導の充実】	子どもたちが自らの民族の歴史や文化・伝統を尊重し、自己の確立を図ることで、多様な文化を理解し、共に生きていく国際人としての資質や能力の育成に努めている。	B	B
②【連携の強化】	国際理解教育推進のため、民族講師や在日外国人生徒の保護者から学ぶ機会を設けるとともに、チョソン友の会の活動を充実させている。	C	
結果と分析			
①国際理解教育として、1年生は遊び(1学期)、2年生は楽器体験(3学期)を実施し、韓国・朝鮮についての知識を深めることができた。 ②毎週金曜日にソンセンニムが来校し、昼食交流を行ってきた。また、昼休みは民族学級を開放し、楽器演奏を通して交流を図ってきた。			
次年度への改善点			
・各学年で国際理解教育を実施することができるよう年間計画を立てる必要がある。 ・ソンセンニムとのかかわりをより深められるよう、昼食交流の時間の使い方を工夫する。			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

6-④ 進路指導

- ・仲間との支え合いの中で、生活に根ざした確かな学力を身につけさせ、将来の人生設計を見据えた自らの進路を獲得できる生徒を育成する。
- ・生徒が自らの進路を勝ちとれるよう、長期的な視野に立ち、情報発信に努める。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが、目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達 成 状 況	
①【指導の充実】	3年間を見通した進路学習を進め、生徒一人一人が将来の生き方を考える力を養う取り組みを行っている。	B	B
②【指導の充実】	生徒が望ましい勤労観・職業観を持つことができるよう、職業講話・職場体験などのキャリア教育が系統的に実施されている。	C	
③【指導体制の強化】	進路指導にあたって、生徒の能力・適性等の発見・開発の方法について論議し、計画的な取り組みを進めている。	A	
④【指導体制の強化】	生徒一人一人が興味・関心などに応じて、進路選択が行えるよう、進路情報の収集・活用を適切に行い、きめ細かな情報発信を行っている。	A	
⑤【指導体制の強化】	進路選択にあたって、組織的な進路指導体制が作られており、適切な進路相談が行われている。	A	
結果と分析			
①各学年で、進路学習に取り組んだ。さらに進路学習の充実を図っていきたい。 ②キャリア教育の具体的な取り組みを思索したが、取り組みを行うには至らなかった。 ③進路委員会の計画をもとに、各学年で取り組みを進めた。 ④進路主事や三年生の学年教師を中心に、進路情報の収集と活用に努めた。 ⑤進路委員会を中心とした進路指導体制で、具体的な取り組みを進めた。			
次年度への改善点			
生徒が望ましい勤労観・職業観をもつことができるよう、キャリア教育の具体的な取り組みを模索していきたい。			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

6-⑤ 安全・危機管理

- ・安全確保のため、学校としての危機管理体制の確立・整備に努める。
- ・施設・設備の保全、点検に努め、安全管理体制の徹底を図る。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが、目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達 成 状 況	
①【体制の強化】	「安全(防犯)対策マニュアル」「防災計画」について、共通理解が図られ、危機管理体制が整い、機能している。	B	B
②【体制の強化】	学校全体で来校者のチェックが十分にできおり、不審者対策に努めている。	A	
③【緊急対応】	火事・地震などの災害に対して、避難訓練等を実施し、日頃から迅速かつ適切に対処できるよう努めている。	B	
④【連携の強化】	緊急事態における生徒の安全確保の方法については、PTA・地域・関係諸機関との協力関係が築かれている。	B	
⑤【体制の強化】	生徒対応に関わって、非暴力的対応についての教職員研修がなされ、危機管理についての共通理解が図られると共に、その体制が確立されている。	B	
結果と分析			
①「防災計画」などで、学校全体の共通理解を図っている。 ②門の施錠等を絶えずチェックし、インターホンによる来校者の確認も行っている。 ③避難訓練等を計画し、緊急時の対応が適切にできるように努めている。 ④PTA・地域・関係諸機関と連携し、協力体制ができている。 ⑤生活指導についての研修が実施され、危機管理についての共通理解が図られている。			
次年度への改善点			
さらなる危機管理体制の充実を積極的に図っていく。			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

6-⑥ 特別支援教育

・障がいや障がい者に対する認識や理解を深めるとともに、障がいのある子どもと共に生きる意識の育成や共に成長することのできる集団を育てる。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達成状況	
①【指導体制の強化】	特別支援教育についての校内委員会が設けられ情報交換も適切に行われている。	A	A
②【指導体制の強化】	特別支援教育コーディネーターを中心に校内の支援体制が整備されている。	B	
③【指導体制の強化】	個別の指導計画及び教育支援計画を作成している。	A	
④【指導体制の強化】	障がいについての理解を深めることによって、ノーマライゼーションの理念に基づき、共に生きていこうとする精神と態度を高めている。	A	
結果と分析			
① いろいろな委員会で情報を密に伝えあい、教職員全員で情報を共有できた。 ② 教科担当者と入り込み担当者が連携し、より良い指導内容について検討することができた。 個々の生徒の支援の方法について議論を重ね、支援体制を整備していった。 ③ 個別の指導計画及び教育支援計画の作成はできた。 ④ それぞれの学年の実情に合った特別支援教育学習を行った。			
次年度への改善点			
・ 個別の指導計画及び教育支援計画作成については、個々の生徒の力を十分に伸ばしていけるように、綿密な内容を念入りに検討していきたい。また、年度当初に個別の指導計画を示していけるように、前年度末から検討していく。 ・ 特別支援教育学習を今後とも「仲間と共に生きていく力」を養うような指導に努めていきたい。			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

6-⑦ 組織運営

・教育指導計画の重点目標に基づき、具体的方策の実現に向けて、学校総体、各分掌で組織的・系統的に取り組む。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが、目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達成状況	
①【組織強化】	学校は組織をあげて努力目標(「すすんであいさつをしよう」「時刻を守ろう」「思いやりの心を大切にしよう」「学校を美しくしよう」)の達成に向けて取り組んでいる。	A	B
②【共通理解】	自校の教育課題について、教職員間でよく話し合っている。	B	
③【特色のある学校】	学校の教育活動において、生徒・保護者のニーズにあった、他の学校にない特色がある。	B	
④【PDCA】	学校は教育活動全般について適切に評価を行い、次年度の計画にいかしている。	B	
⑤【PDCA】	学校全体としてPDCAサイクルを機能させ、教育活動の活性化に努めている。	B	
⑥【学校経営】	校長は、自らの教育理念や学校経営についての考えを明確にし、実現に向けて取り組んでいる。	B	
⑦【学校経営】	学校経営に校長のリーダーシップが発揮されている。	B	
⑧【学校経営】	管理職の責任の果たし方が明確化されており、教育活動全般の推進、教育諸課題の克服が円滑に行われている。	B	
⑨【共通理解】	各分掌や各学年間の連携がうまく行なわれ、円滑に機能している。	B	
⑩【共通理解】	諸会議では積極的に意見交換が図られ、情報交換の場としても有効に機能している。	B	

取組内容(指標)		達成状況	
⑪【共通理解】	教育活動全般、校務運営上の課題等について、「報告・連絡・相談」の体制が機能し、教職員の情報の共有が図られ、危機管理にもつながっている。	B	
⑫【学校経営】	予算の編成や執行は、学校の教育計画や経営方針に基づき、適切に行われている	A	
⑬【学校経営】	公文書の収受・発送・保管に関する管理が充分になされている。	A	
⑭【学校経営】	個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する適正な維持管理システムが確立している。	B	
結果と分析			
<p>①様々な教育活動の中で、努力目標の達成に向けての取り組みが積極的に行われている。</p> <p>②あらゆる場面で、本校の課題やその克服のための話し合いが行われている。</p> <p>③様々な本校の教育活動の成果によって、保護者や地域からの信頼と期待が高まっている。</p> <p>④各学校行事毎に、必ず点検と分析を行い、改善点については次年度の計画にいかしている。</p> <p>⑤学校アンケート等を実施し、本校の教育活動の成果と課題を明らかにし、それを次年度にいかしている。</p> <p>⑥これから本校の教育活動を推し進めるために、情報を収集し、解決に向けての計画的な学校運営を行っている。</p> <p>⑦配慮を行い、学校経営を円滑に進めている。</p> <p>⑧学校の課題の克服のため、責任をもって、前向きに取り組んでいる。</p> <p>⑨各分掌や各学年が連携をとりながら、教育活動を行っている。</p> <p>⑩会議では、生徒情報を中心とした交換が行われ、共通理解の場となっている。</p> <p>⑪「報告・連絡・相談」の体制を機能させ、問題行動等の早期解決に取り組んだ。</p> <p>⑫全教職員の共通理解のもと、適正な予算執行が行われている。</p> <p>⑬公文書の収受・発送・保管に関する管理が充分になされている。</p> <p>⑭コンプライアンスの周知・点検を絶えず行い、個人情報の管理に努めている。</p>			
次年度への改善点			
さらなる組織の強化を図り、保護者や地域の期待と要望に応じることの出来る組織運営を進めていく			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

6-⑧ 保護者・地域との連携・小中連携

- ・保護者・地域住民と円滑な連携を図り、「開かれた学校づくり」を推進する。
- ・小中一貫教育に向け、小中連携を図る。

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標通りに達成した
C: 取り組んだが、目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達成状況	
①【情報公開】	ホームページが開設されており、学校の教育活動全般が公開されている。	B	B
②【連携強化】	教職員はPTA活動・地域活動によく参加し、保護者・地域の方との連携を図っている。	A	
③【連携強化】	学校評議員が設置され、学校教育のために適性に運営されている。	A	
④【連携強化】	保護者、地域の要望・意見を聞く機会を計画的に持ち、その意見・要望をもとに学校改善に努めている。	B	
⑤【連携強化】	学校は、教育活動全般及び諸課題克服のため、主体性を持って保護者・地域に対して協力を依頼している。	B	
⑥【連携強化】	自己評価(①学校の単年度の目標の具体的設定②中期の目標設定③生徒・保護者・地域関係者に対するアンケート④生徒による授業アンケート⑤取り組みの適切さの検証とその改善策の検討)が適切になされている。	B	
⑦【連携強化】	外部評価委員会が設置され、適切な運営がなされている。	B	
⑧【情報公開】	学校は自己評価と外部評価の内容の内容を保護者・地域住民に公開している。	B	
⑨【情報公開】	学校は教育活動全般について、保護者の要望と信託に応えている。	B	
⑩【情報公開】	地域コミュニティーの中心として、校庭・学校施設等が広く地域に開放されている。	B	
⑪【情報公開】	学校全体として「開かれた学校づくり」に積極的に努めている。	A	

取組内容(指標)		達成状況	
⑫【小中連携】	小中連携が円滑に行なわれ、様々な教育活動全般についての連携が十分に図られている。	B	
結果と分析			
<p>①ホームページは、開設されているが、内容の充実と更新頻度の強化が求められる。</p> <p>②PTA活動、地域行事に、積極的に参加し、連携の強化を進めた。</p> <p>③学校協議会から意見をいただき、学校運営に役立てている。</p> <p>④学校評価アンケート等を実施して、生徒、保護者の意見・要望を積極的に取り入れ、教育活動に役立てている。</p> <p>⑤地域と絶えず連携し、課題克服のための協力体制をとっている。</p> <p>⑥学校評価アンケート等を実施している。</p> <p>⑦学校協議員からの意見を学校運営に役立てている。</p> <p>⑧「矢田西だより」等で、結果を公開してる。</p> <p>⑨本校の教育活動の成果によって、地域から信頼されつつある。</p> <p>⑩施設開放事業など、地域に開放している。</p> <p>⑪体育大会や文化祭等の学校行事、土曜参観等、保護者や地域の方に来校していただけるように、積極的にはたらきかけている</p> <p>⑫小中連携コーディネーターを中心に、授業体験や小学生の体育大会見学、文化祭見学などの小中連携を進め、本年度は、9年間のカリキュラム編成の合同会議や出前授業などの取り組みも進んだ。</p>			
次年度への改善点			
<p>近年の取り組みの成果により、保護者や地域からの信頼や期待も高まっており、連携のさらなる強化を図っていく必要がある。また、小中一貫の教育についても一小一中の利点を生かしこれを進める。</p>			

項目別評価シート

大阪市立矢田西中学校

6-⑨ 施設設備

・教育環境の充実のため、施設・設備の整備、有効活用を推進する。

評価基準 A: 目標を上回って達成した

B: 目標通りに達成した

C: 取り組んだが、目標を達成できなかった

D: ほとんど取り組めず、目標も達成できなかった

取組内容(指標)		達成状況	
①【環境整備】	生徒一人一人の美化意識の定着のもと、生徒が主体となった日常の美化活動が円滑に行われ、校内美化と環境整備が進んでいる。	B	B
②【環境整備】	学校内・教室・廊下等の掲示物は整理され、生徒が落ち着ける環境づくりのためのソフト面での整備に努めている。	B	
③【環境整備】	各教科・各係は備品や教材、消耗品の管理を適切に行い十分に活用されている。	B	
④【緑化活動】	草花の栽培をはじめ、生徒の生活の場として、ゆとりと潤いのある教育環境が整備されている。	B	
⑤【環境整備】	校舎内・校舎周辺、校園敷地内、学校周辺の清掃・管理が行き届き、落ち着いた教育環境が整備されている。	A	
⑥【指導の充実】	公共物を大切にする指導に積極的に取り組んでいる。	B	
⑦【環境整備】	施設整備委員会を中心に施設・設備の整備・拡充は計画的に実施されている。	A	
⑧【環境整備】	施設・設備で改善・補修すべき所はすぐに措置している。	A	
⑨【環境整備】	施設・設備については、日常的に点検や整備、補修等が行われている。	A	
⑩【環境整備】	緊急災害に関連する防火管理施設・用具や緊急救援物資の管理等の「警備及び防災計画」が十分に機能するよう校内体制が確立されている。	B	

結果と分析
<p>①日頃の清掃活動だけでなく、生徒会のお掃除隊など、生徒の美化意識を高める活動を行った。</p> <p>②掲示物の整理などに努めている。</p> <p>③消耗品の管理など適切に行われている。</p> <p>④草花の栽培や管理など適切に行われている。</p> <p>⑤校舎内・校舎周辺、校園敷地内、学校周辺の清掃・管理が行き届き、落ち着いた教育環境が整備されている。</p> <p>⑥あらゆる場面で、物を大切にする指導を行っているが、まだ十分とはいえない。</p> <p>⑦施設整備委員会を中心に施設・設備の整備・拡充は計画的に実施しているが、予算面の課題もあり、なかなか進んでいない。</p> <p>⑧施設・設備で改善・補修すべき所はすぐに措置されている。</p> <p>⑨施設・設備については、施設整備委員会を中心に定期的に点検や整備、補修等が行われている。</p> <p>⑩緊急災害に関連する防火管理施設・用具や緊急救援物資の管理を適切に行っている。</p>
次年度への改善点
<p>各項目についてのさらなる詳細な分析を行い、予算面との関連の中で、計画的な施設整備を進める。さらに生徒の美化意識や環境意識の指導も進めていく。</p>

教科、道徳、特別活動及び総合的な学習の時間の
週時間配当並びに日課時間表

教科 学年	国 語	社 会	数 学	理 科	音 楽	美 術	保 ・ 体	技 ・ 家	英 語	選 択	道 徳	特 活	総 合	合 計
1年	4	3	4	3	1.5	1.5	3	2	4	0	1	1	1	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	0	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	0	1	1	2	29

校 時

予 鈴…… 8:25	
本 鈴…… 8:30	
職員朝礼…… 8:30	
50分授業	45分授業
第1時限… 8:45～ 9:35	第1時限… 8:45～ 9:30
第2時限… 9:45～10:35	第2時限… 9:40～10:25
第3時限…10:45～11:35	第3時限…10:35～11:20
第4時限…11:45～12:35	第4時限…11:30～12:15
昼食／休憩…12:35～13:15	昼食／休憩…12:15～12:55
予鈴……………13:15	予鈴……………12:55
第5時限…13:20～14:10	第5時限…13:00～13:45
第6時限…14:20～15:10	第6時限…13:55～14:40
学活／清掃…15:10～15:35	学活／清掃…14:40～15:05

⑬. 教員の研修計画

平成24年度(2012年度) 教員研修計画(案)

月	内 容
4	教育指導計画(年間指導計画)立案 新転任研修(教務部・生活指導部・人権教育推進委員会) 人推委研修(特別支援教育)
5	矢田人権・同和教育推進協議会新転任研修① 矢田人権同和教育推進協議会 総会
6	市人教大会 AED講習 教務研修(授業用指導案の書き方などについて) 熱中症対策研修 特別支援教育研修会
7	矢田人権・同和教育推進協議会新転任研修②
8	教科教材研究
9	6B中学校教育研究会 生活指導研修 人推委(東住吉区人権・同和教育講演会)
10	人推委(在日朝鮮人教育研修) 生活指導研修会 教育指導計画の中間反省 全市中学校教育研究会 矢田地区研究集会
11	矢田地区研究集会 人推委(東住吉区にんげん実践交流会)
12	人推委研修(特別支援教育)―小中連携
1	
2	矢田人権・同和教育推進協議会新転任研修③
3	教育指導計画の年度末反省 来年度教育計画立案
備考	全同教大会(12月) ITモラル研修会

⑭. 校務分掌

2012年度 教務部分掌

2012年度 事務部分掌

	役割	担当者	係	役割	担当者
教務	企画運営	加納正 豊田	庶務	学校維持運営費	浦川
	時間割	加納正 中原 豊田		学校徴収金	浦川・大熊
	補欠	学年教務		給与	前地・浦川
	学籍統計	洞 坂本 加納正		旅費	浦川
	学習研修	坂本 腰田 豊田		就学援助費	浦川
進路指導		中原 加納正		教職員勤務状況処理システム	前地
視聴覚	視聴覚	中原 坂本 西野	管理作業	文書管理	前地
	図書館	寛座 腰田 崎井 西野		片山 土井	

2012年度 生活指導部 生徒指導主事(岩井) 部長(西尾) 副部長(呉)

生活指導女性主担者(吉中)

係	役割	担当者
生活指導	企画運営	岩井 西尾
	集会指導	岩木 呉 西尾
	交通安全指導	西尾 西下
	避難訓練	
	庶務	大倉 加納寛
	学級写真・生徒手帳	
	名札・落し物	
生徒会	生徒会・役員選挙	吉中 岩木 加納寛
	執行部・代議委員会	
	認証状	岩木 吉中
	クラブ指導・三中交流	有田 林
保健安全	保健安全	大倉 松田
美化	美化	松田 吉中 加納寛
整備	施設設備	
校外活動		岩井 西尾 呉

2012年度年間行事予定(案)【 4月～ 6月】

4月			5月			6月		
1	日		1	火		1	金	
2	月	職員会議	2	水		2	土	
3	火		3	木	憲法記念日	3	日	
4	水		4	金	みどりの日	4	月	教育実習開始
5	木		5	土	こどもの日	5	火	歯科検診
6	金	入学式準備	6	日		6	水	歯科検診
7	土		7	月		7	木	
8	日		8	火		8	金	実力テスト①・2年校外学習・1年一泊移住
9	月	入学式・始業式	9	水	内科検診	9	土	1年一泊移住
10	火	三測定・視力聴力検査	10	木		10	日	
11	水		11	金		11	月	1年代休
12	木		12	土		12	火	
13	金		13	日		13	水	
14	土		14	月		14	木	
15	日		15	火		15	金	
16	月		16	水	3年修学旅行	16	土	
17	火	全国学力調査	17	木	3年修学旅行	17	日	日曜参観・進路説明会①
18	水	内科検診	18	金	3年修学旅行	18	月	代休
19	木		19	土		19	火	
20	金		20	日		20	水	
21	土		21	月		21	木	
22	日		22	火	耳鼻科検診	22	金	教育実習終了
23	月	家庭訪問	23	水		23	土	
24	火	家庭訪問	24	木	中間テスト	24	日	
25	水	家庭訪問	25	金	中間テスト	25	月	
26	木	眼科検診	26	土		26	火	
27	金	家庭訪問	27	日		27	水	期末テスト
28	土		28	月		28	木	期末テスト
29	日	昭和の日	29	火		29	金	期末テスト
30	月		30	水		30	土	
			31	木				

2012年度年間行事予定(案)【 7月～ 9月】

7月			8月			9月		
1	日		1	水		1	土	
2	月		2	木		2	日	
3	火		3	金		3	月	始業式
4	水		4	土		4	火	短縮
5	木		5	日		5	水	
6	金		6	月	8,6平和登校日	6	木	
7	土		7	火		7	金	
8	日		8	水		8	土	
9	月		9	木	チョソン民族合宿	9	日	
10	火		10	金	↓	10	月	↓
11	水	短縮	11	土		11	火	課題・実力②
12	木	期末懇談	12	日		12	水	
13	金		13	月		13	木	
14	土		14	火		14	金	
15	日		15	水		15	土	
16	月	海の日	16	木		16	日	
17	火		17	金		17	月	敬老の日
18	水	↓	18	土		18	火	
19	木	↓ 諸帳簿整理	19	日		19	水	
20	金	終業式	20	月		20	木	
21	土		21	火		21	金	
22	日		22	水		22	土	秋分の日
23	月		23	木		23	日	
24	火		24	金		24	月	
25	水		25	土		25	火	
26	木		26	日		26	水	
27	金		27	月		27	木	
28	土		28	火		28	金	体育大会
29	日		29	水		29	土	
30	月		30	木		30	日	
31	火		31	金				

2012年度年間行事予定(案)【10月～12月】

10月			11月			12月		
1	月		1	木		1	土	
2	火		2	金	創立記念日	2	日	
3	水		3	土	文化の日	3	月	
4	木		4	日		4	火	職業相談
5	金	実力テスト③	5	月		5	水	
6	土		6	火		6	木	成績交換
7	日		7	水		7	金	
8	月	体育の日	8	木	実力テスト④	8	土	
9	火		9	金		9	日	
10	水		10	土		10	月	
11	木	中間テスト・私学合同説明会	11	日		11	火	
12	金	中間テスト・私学合同説明会	12	月		12	水	
13	土		13	火		13	木	3年期末懇談
14	日		14	水		14	金	期末懇談
15	月		15	木		15	土	
16	火		16	金	進路懇談・午後	16	日	
17	水	全市教研	17	土		17	月	
18	木		18	日		18	火	
19	金	進路説明会②	19	月		19	水	↓ 1・2年期末懇談
20	土		20	火		20	木	諸帳簿整理
21	日		21	水		21	金	終業式
22	月		22	木	↓	22	土	
23	火		23	金	勤労感謝の日	23	日	天皇誕生日
24	水		24	土		24	月	
25	木		25	日		25	火	
26	金	文化祭	26	月	期末テスト	26	水	
27	土	授業参観・親子ふれあい人権講座	27	火	期末テスト	27	木	
28	日		28	水	期末テスト	28	金	
29	月	代休	29	木		29	土	
30	火		30	金		30	日	
31	水					31	月	大晦日

2012年度年間行事予定(案)【 1月～ 3月】

1月			2月			3月		
1	火	元旦	1	金		1	金	
2	水		2	土		2	土	
3	木		3	日		3	日	
4	金		4	月		4	月	公立後期出願
5	土		5	火		5	火	公立後期出願締め切り
6	日		6	水		6	水	
7	月		7	木		7	木	
8	火	始業式・進路相談	8	金		8	金	
9	水	実力テスト⑤□	9	土	私学入試	9	土	
10	木		10	日		10	日	
11	金		11	月	建国記念日・合格発表	11	月	公立後期入試
12	土		12	火		12	火	
13	日		13	水	公立前期出願	13	水	卒業式予行
14	月	成人の日	14	木	公立前期出願締め切り	14	木	卒業式
15	火		15	金		15	金	
16	水		16	土		16	土	
17	木		17	日		17	日	
18	金		18	月		18	月	公立後期合格発表
19	土		19	火		19	火	学年懇談会
20	日		20	水	公立前期入試	20	水	春分の日
21	月		21	木		21	木	諸帳簿整理
22	火		22	金		22	金	修了式
23	水		23	土		23	土	
24	木		24	日		24	日	
25	金		25	月		25	月	
26	土		26	火	実力テスト⑥ 1・2学年末テスト 公立前期合格発表	26	火	公立二次出願
27	日		27	水	実力テスト⑥,1・2学年末テスト	27	水	
28	月		28	木	実力テスト⑥,1・2学年末テスト	28	木	公立二次発表
29	火	3年学年末テスト 1, 2年学力診断テスト				29	金	
30	水	↓ 私学出願				30	土	
31	木					31	日	

努力目標

1. すすんであいさつをしよう

2. 時間を守ろう

3. 思いやりの心を大切にしよう

4. 学校を美しくしよう

